

畜産ネットワーク ちば

2025年9月22日
第64号

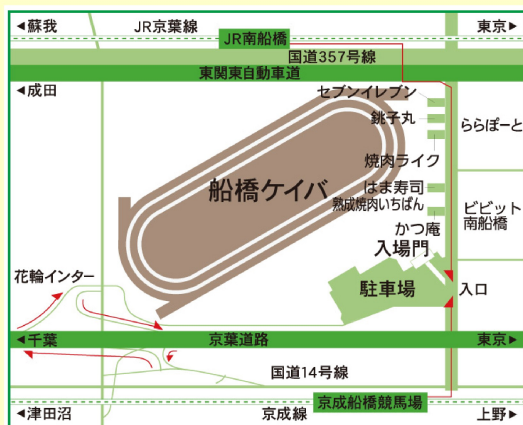
発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル
発行人 森 英介

11月3日(月・祝)開催！ JBC畜産フェア2025

同日に開催されるJBC競走×船橋競馬場に合わせ、千葉県畜産フェアを開催！

☆ 千葉県産畜産物のカタログ販売

豚肉・豚肉加工品、乳製品、はちみつ等をカタログ販売いたします。



10:00開場予定

会場：船橋競馬場

京成線 船橋競馬場駅から徒歩5分

JR京葉線 南船橋駅から徒歩10分

【主催】

千葉県畜産物消費拡大推進協議会

公益社団法人千葉県畜産協会

【お問合せ先】

公益社団法人千葉県畜産協会

TEL：043-242-5417

10月12日(日)開催！！

船橋競馬場2025「ふれあい広場」

千葉県競馬組合が主催する「ふれあい広場」の1コーナーとして畜産フェアが開催！

千葉の畜産を『食べよう』『話そう』『知ろう』！

☆ 千葉県産農畜産物の販売・PR

入場無料 10:30~15:00

☆ 千葉県畜産に係る展示・体験・相談会

【主催】 千葉県競馬組合

【お問合せ先】

公益社団法人千葉県畜産協会

TEL043-242-5417



令和7年度定時総会開催

令和7年6月30日（火）ホテルプラザ菜の花にて定時総会が開催されました。

事務局の成立宣言、森会長及び来賓の江森畜産課長の挨拶の後、定款に基づき会長が議長に就任し議事が進められました。

議事は報告事項として「令和6年度事業報告」「令和7年度事業計画並びに収支予算」の2点、議案として「令和6年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録」「令和7年度会費の額及び徴収方法」「役員の選任」「役員の報酬額」の4点について事務局から説明があり、全て原案どおり可決承認されました。

このうち、第3号議案役員の選任については任期途中で辞任届のあった2名の後任として、千葉県農業共済組合の渡辺哲也氏、千葉県農林水産部畜産課長の江森美香氏を新たに選任し、総会終了後の臨時理事会で渡辺氏が副会長に選任されました。

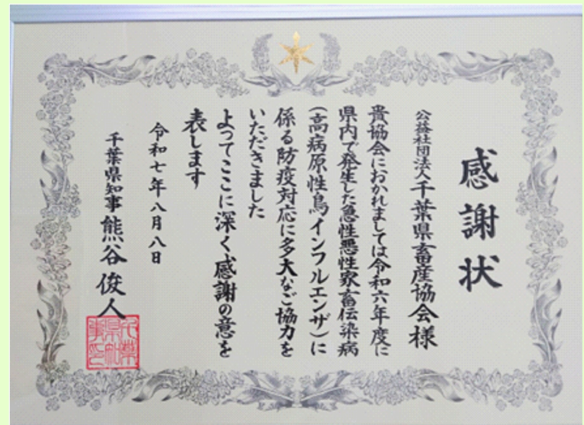
また、議事終了後の連絡事項で、事務局から永年勤続職員として金杉文一（30年）、高橋早苗及び瀧口麻美（20年以上）の3名を表彰する旨の説明がありました。

（専務理事 富田）

千葉県知事から感謝状が授与されました

令和7年1月に県北東部で続発し防疫対策が3月にまでに及んだ高病原性鳥インフルエンザの防疫対応への協力により同年8月14日に千葉県知事から感謝状が授与されました。

（専務理事 富田）



（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来へ向け
て畜産DXの取り組み／乳用牛改良の取り組み／地
域ぐるみで国産飼料生産！ほか



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

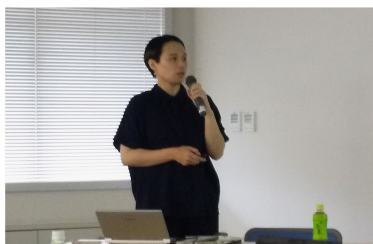
がんばる! 畜産! 8



PRRS地域防疫セミナー開催

◆第1回PRRS地域防疫セミナー

令和7年6月24日（火）旭市民会館において、第1回PRRS地域防疫セミナーを開催いたしました。
農研機構動衛研の岸田先生から「2024年度市内PRRS野外株分離状況とサーコウイルス調査結果」と題し令和6年度のまとめとして講演いただきました。（生産課 金杉）



- 旭市内農家の血清368検体について検査を実施。
- 全国では3割位がワクチン類似株であるが、旭市では2割程度と全国に比べ少ない。
- 旭市内ではクラスターⅢが減り、クラスターⅣが増加。
- 全国を見てもクラスターⅣが増えている。



最後に岸田先生から農家へ聞きたいことについて話があり今後、アンケート調査を実施し報告することとなった。

<アンケート内容>

- 発生傾向と対応状況（季節性はあるか？最初の異変は？初動対応は？）
- 地域拡大の要因と傾向（共通経路、人の往来は？同時発生か？）
- ワクチン株への置換と農場の状況（事故率は？どんなことを意識？）
- PRRSウイルスの侵入リスク（種豚？車両？人の出入り？）
- 廃棄物・副産物の管理糞尿の処理方法（施設の衛生状況は？）

続いて、チョコマロンライブストックパートナーの矢光先生より、担当する養豚農家での母豚への症状が強いPRRSの発生事例について報告いただきました。

◆第2回PRRS地域防疫セミナー

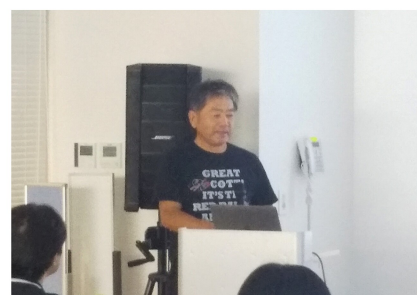
令和7年9月3日（水）旭市役所において、第2回PRRS地域防疫セミナーを開催いたしました。
前回のセミナーでアンケート調査を実施したところ、PRRSワクチンを取り上げてほしいという要望から、一般財団法人日本生物科学研究所の平先生にお越しいただき「PRRS不活化ワクチン～特徴、使い方、事例まで～」と題し講演いただきました。



- PRRS感染がおこると、3～4週間目にピークを迎えるが、ウイルスは長い期間体内に存在。
- 感染後、1日で血中からウイルスが検出される。
- ウイルス血症期間は最大で6週間程度。
- エライザ抗体は感染して10～14日で陽性値となり、半年～1年かけて消滅する。
- PRRSウイルスは、防御シールド（盾）をいっぱいもっているため、中和抗体されにくい。
- 不活化ワクチンは、20～30年ヨーロッパ型でありあまりいい評判がなかったが、ここ5年かわってきた。
- 不活化ワクチンだけ接種しても中和抗体が全く上がらないが、生ワクチンとの併用で効果が得られる。



続いて、株式会社ピグレッツの渡辺先生より、担当するモデル農場での疾病対策について報告いただきました。



- PRRS被害の状況…離乳後事故率の上昇、流早産の続発。
- 遺伝子解析により、相同性の低い株の感染を確認。
- 自農場の株ではなく、外部から侵入したものが被害拡大に影響。（工事関係者の出入りが多いため、そこが原因か？）
- 2024年9月から不活化ワクチンに変更したところ、流早産が減少、離乳後事故率が改善。

肉用子牛生産者補給金制度

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。

また、契約者死亡、経営中止、経営移譲、個人から法人への移行等、現在の契約に変更が生じた場合は、速やかに事務委託先を通じて報告をお願いいたします。（経営・環境課 小倉）

◇肉用子牛の補償基準価格・合理化目標価格及び発動状況

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	574,000	523,000	334,000	164,000	274,000
合理化目標価格	446,000	406,000	259,000	110,000	216,000
7年度 第1四半期※	平均売買価格※※	650,900	621,100	254,700	382,500
	補給金単価	-	-	-	-

※「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

※※「平均売買価格」については、指定家畜市場における指定肉用子牛の取引価格から算出している。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度は、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉用牛の生産者の経営に及ぼす影響を緩和することを目的としています。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（企画課 飯沼）

◇交付金の交付状況

（単位：円／頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C) = (A) -	交付金単価 (D) = (C) ×
令和7年 4月	肉専用種	1,201,817	1,152,188	31,854	-
	交雑種	780,560	736,519	44,041	-
	乳用種	468,918	492,721	△23,803	21,422.7
令和7年 5月	肉専用種	1,188,510	1,153,075	35,435	-
	交雑種	791,374	754,292	37,082	-
	乳用種	475,828	508,661	△32,833	29,549.7
令和7年 6月	肉専用種	1,147,091	1,154,078	△6,987	6,288.3
	交雑種	772,850	780,479	△7,629	6,866.1
	乳用種	478,427	508,721	△30,294	27,264.6

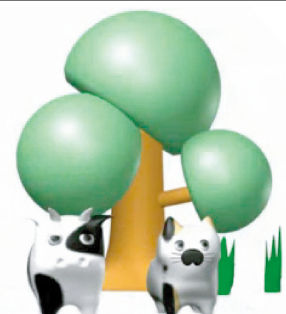
注：交付金は1円単位で交付となります。

◆牛マルキン制度では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりません！

繁殖雌牛や種雄牛を誤って申込んだことが分かった場合や、申込の後に繁殖に仕向けた場合は、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



第63回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術会議畜産部会主催の試験研究成果発表会が開催されます。

開催日時、場所、課題名等は以下のとおりです。参加は無料で、事前申し込みの必要はありません。皆様のご来場をお待ちしております。

また、令和8年2月下旬から12月まで、「千葉県公式セミナーチャンネル」にて動画配信も行います。どなたでも視聴が可能ですのでぜひご覧ください。（千葉県畜産総合研究センター）

日時：令和7年11月11日（火） 午前10時～午後4時15分

場所：東金文化会館小ホール [東金市八坂台1-2107-3/TEL：0475-55-6211]

<養豚部門>

[10:10～10:50]

1【成果発表】IoTを利用したスマート排水処理システムの構築

（畜産総合研究センター 企画環境研究室 長谷川 輝明）

IoT遠隔監視システムとスマート汚泥管理システムの利用により、排水処理施設の管理の省力化（労力70%削減）と活性汚泥量の自動最適制御を可能とした。

（開発した技術）



2【試験の紹介】豚における特定遺伝子型の判別検査の概要と新たな調査研究の紹介

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 細野 真司）

近年、豚の抗病性に関与する遺伝子を検出する技術が確立された。この抗病性に関与する遺伝子について解説するとともに、これら技術の活用に向けた試験研究を紹介する。

<養鶏部門>

[10:50～11:50]

3【現地調査】不織布による鳥インフルエンザ侵入防止対策に関する調査

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 小形 次人）

不織布等による鳥インフルエンザ侵入防止対策に関する聞き取り調査を行い、コスト、施工や維持管理のしやすさ、破損や交換頻度などを調査したので概要を報告する。

4【情報提供】高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)対策へのドローンの活用

（東部家畜保健衛生所 防疫課 蒲生 汐理）

HPAIウイルスを媒介する可能性のある野生動物への対策として、カメラ付きドローンを活用した施設の破損状況や野鳥の痕跡を確認する農場点検の取組について紹介する。

（カメラ付きドローン）



～ 昼食時間 ～

[12:00～13:10]

<酪農・肉牛部門>

[13:10～16:15]

5【情報提供】トウモロコシ・ソルガム混播栽培用トウモロコシの品種比較試験

（畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 富松 大智）

本県に適した混播栽培用のトウモロコシ品種を選定するため、早中生・中生系各2品種の合計4品種を用いて品種比較試験を実施したので、その内容を報告する。

（トウモロコシ・ソルガム混播栽培）

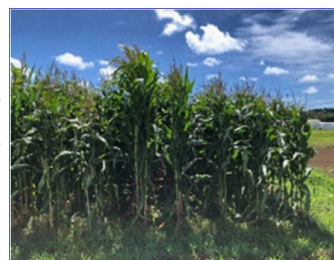


6【情報提供】青刈りトウモロコシの収量および調査項目の年次変化について ～奨励品種選定試験より～

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 名取 美貴)

毎年実施する青刈りトウモロコシ奨励品種選定試験の直近5年間の乾物収量や稈径などの収穫調査結果において、異品種間に共通した年次変化の傾向が認められたので紹介する。

(トウモロコシ生育調査)



7【情報提供】栽植密度が飼料用トウモロコシの収量性に与える影響と現地調査からみた実情

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 岡庭 就祐)

トウモロコシの収量確保には改めて栽植密度が重要と考えられた。また、栽培農家の現地圃場を調査した結果収穫時の栽植密度は様々な要因でばらついていていた。

(現地圃場調査)

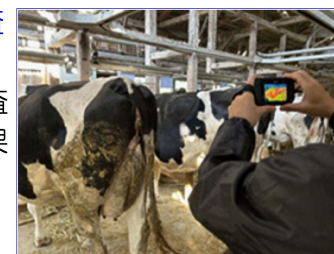


8【現地調査】暑熱対策の違いが乳牛の生産性に及ぼす影響の現地調査

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 小林 大誠)

令和5年度より取り組んでいる県内酪農家における暑熱対策現地調査の実施状況と、今年度より取り組んでいる毛刈りによる暑熱対策の効果検証の調査内容について報告する。

(暑熱現地調査)



9【情報提供】ホルスタイン種未経産牛におけるプロジェステロン・エストラジオール配合剤(PRID) 12日間留置による卵巣反応

(畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 久保田 尚)

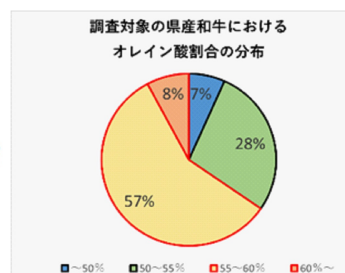
未経産牛にPRID留置による発情同期化処置を施し定時胚移植を実施したところ、発情同期化率は良好であり、留置期間中の黄体退行時期により受胎率に差が出る傾向があった。

10【現地調査】県産黒毛和牛における脂肪酸組成の現状

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 三根 琴美)

令和6年度に調査を行った脂肪酸組成データについて分析した結果、オレイン酸55%以上の牛肉は全体の65%と高かった。さらに、脂肪酸組成に影響する要因を解析したので紹介する。

(暑熱現地調査)



11【成果発表】交雑種去勢肥育牛における早期出荷のための肥育前期粗飼料割合の検討

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 行川 貴浩)

交雑種去勢牛で肥育前期粗飼料割合が30～40%の場合、24ヵ月齢での早期出荷が可能である。また、発育・増体、枝肉成績、収益性等を総合すると、40%が最も適当である。

(肥育試験)



－お問い合わせ先－

●千葉県畜産総合研究センター [TEL: 043-445-4511 FAX: 043-445-5447]

●千葉県農林水産部畜産課 [TEL: 043-223-2939 FAX: 043-222-3098]

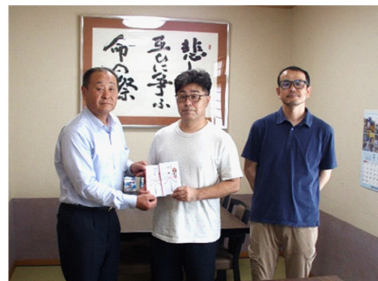
※発表予定時刻等は畜産総合研究センターホームページ(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>)をご覧ください。

◆熊谷知事表敬訪問と支援金（募金）交付（2025. 6. 27&7. 1）

3月末に本県初となる豚熱発生を受け、殺処分された家畜の処理が、レンダリング装置を活用し全頭焼却処理により処分が完了できたことから、報告と御礼のため千葉県知事を訪問いたしました。

ナイスポークチバ推進協議会では、今回の発生を踏まえ、支援策を検討すべく三役会議の結果を踏まえ「豚熱発生農場再開に向けた支援金（募金）活動」と題し協議会会員、賛助会員に対し支援金の協力を5月20日期限でお願いいたしました。その結果、多くの生産者、賛助会員から募金が集まり、協議会緊急対策基金から見舞金と共に（農法）清和畜産へ手渡しいたしました。

多くの方々のご協力に感謝を申し上げますと共に、一日も早い生産復帰を望んでやみません。



◆令和7年度通常総会開催（2025. 6. 5）

令通常総は、千葉市内ホテルで開催され、全議案は承認されました。

第1号議案：令和6年度事業並びに収支決算報告に関する件

第2号議案：令和7年度事業計画並びに収支予算（案）に関する件

第3号議案：会費賦課・徴収時期及び方法（案）に関する件

第4号議案：任期満了に伴う役員改選に関する件

◆改選された役員

会 長	青柳 耕一（留）	香取市	理 事	宮内 孝博（再）	匝瑳市
会長代理	菅谷 和男（留）	旭 市	〃	石毛 仁樹（新）	東庄町
副会長	林 浩之（留）	香取市	〃	岡野 慰（再）	銚子市
〃	北田 好克（留）	山武市	〃	米本 孝之（再）	旭 市
〃	熱田 力（留）	匝瑳市	〃	加瀬 和則（再）	旭 市
〃	飯田 裕一（再）	成田市	〃	岩岡 篤史（再）	旭 市
〃	芳野 守（新）	旭 市	〃	岩崎 裕一（新）	旭 市
〃	宮澤 泰徳（新）	東庄町	〃	海宝 侑一（新）	横芝光町
理 事	中川 光男（再）	千葉市			
〃	佐々木謙斗（再）	富里市	監 事	高橋 怜雄（新）	東庄町
〃	成毛 勇作（新）	香取市	〃	江橋 洋一（新）	旭 市



総会終了後に下記内容で記念講演が開催されました。

「豚を健康に育てることがアニマルウェルフェアの第一歩」

エクシュタイン・スワイン・サービス 獣医師 宮下 マリ 先生

◆2025（一社）日本養豚協会（JPPA）通常総会開催（2025. 6. 23）

2025JPPA通常総会は、都内憲政会館で開催され、予定された全議案は承認されました。

第1号議案：2024年度事業報告及び収支決算に関する件

第2号議案：2025年度事業計画及び収支予算に関する件

第3号議案：2025年度会費の徴収に関する件

懸案事項であった2025年度会費改正（値上げ）は、チェックオフを目指すことから前年度の肉豚出実績（自己申告）を持って会費（出荷肉豚40円／頭）とすることが承認されました。

従来の繋養繁殖豚による申告も一母豚出荷を21頭とすることで認められました。

◆成田空港防疫広報キャンペーン（水際対策）参加（2025. 8. 5）

8月盆や夏休みで国内外の移動が活発化する時期は、特に注意が必要なのが家畜防疫です。

空港などの水際対策の徹底が重要であることから、農水省動物検疫所成田支所の依頼を受け、キャンペーンに千葉から15名（県畜産課・JPPA・県養豚協会・ナイスポーク）が参加しました。

旅客への広報活動、検疫施設の視察、農水省検疫担当官との意見交換により更なる水際対策の強化をお願いいたしました。



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 令和7年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

(1) 令和7年度通常総会

6月27日(金)午後1時30分より、千葉県農林水産部 畜産課 吉田主幹から賓を招き「千葉市民会館」で開催しました。

会員出席58名(内、委任状26名)、関係機関・団体11名の計69名出席。

新城理事長の議長のもとすべての議案が原案通り承認・可決されました。

新役員一覧(令和7年度～8年度)

理事長	新城 恒二	副理事長	新任：菊池 令	富田耕太郎	計良 伸行
理事	井上 貢	内田 賢一	事務局長：薫田 耕平	鶴岡 則夫	山下 厚
監事	松田 延儀	宮島 成郎	新任：松木 英明	○退任：理事 染井英夫	



(2) 畜産研修会

総会終了後に2演題により、研修会が開催されました。

出席者数は、45名。

ア 「令和7年度主要施策について」

講師：千葉県農林水産部畜産課 企画経営室 主幹 吉田喜一郎 氏

イ 「動物用医薬品をめぐる情勢について」

講師：公益社団法人日本動物用医薬品協会 理事長 池田一樹 氏



(畜産研修会風景)

2. 今後の事業活動

(1) 農場HACCP構築支援指導

現在、農場HACCP認証の構築指導に取り組んでいる農場については、認証取得に向けて、より一層の推進を図ってまいります。

認証農場における飼養衛生管理のさらなる強化・向上を支援してまいります。

現在の県内認証農場は73農場です。

また、支援活動に75農場、内、19農場構築中です。



(旭農業高等学校農場入口)

(2) 畜産研修会

来年1月～2月の間に2回開催を予定しています。演題は未定です。

(3) 外国人技能実習生等を対象とした研修会の開催(出前研修)

外国人技能実習生を対象としたパンフレットを県の協力のもと作成し、希望する農場へ配布いたします。

また、必要に応じて通訳を伴っての研修会を開催する予定です。



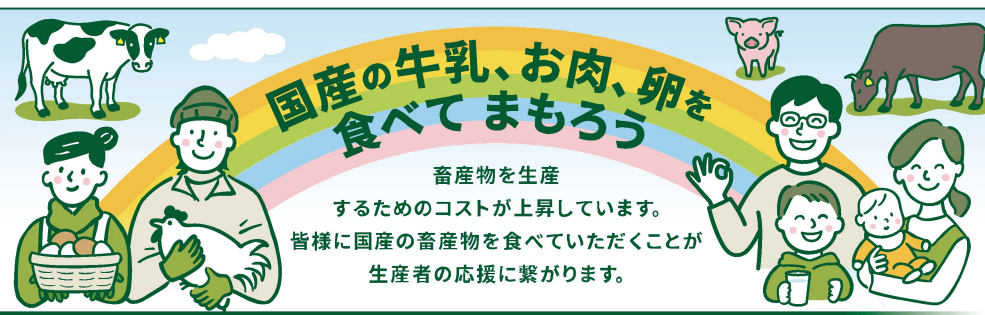
(外国人技能実習生等研修会)

◎入会申し込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております！

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局(千葉県畜産協会内)

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

現会員数：72会員(内、正会員個人56・団体12 賛助会員4団体)



公益社団法人
中央畜産会

中央畜産会 
TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2
第2ディーアイシービル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

「2025 FUNABASHI Beer Fes」が開催されました

令和7年7月26日（土）、地産地消の農産物や地ビールなど船橋のブランドイメージを高め、千葉県産豚肉の食育に対する認知度を向上し、食材の魅力を伝えることを目的に船橋BEER FESが開催されました。当日は、元気豚フランクフルトやつくね串、千葉県旭市特産日の出ポークの豚串焼き、東の匠SPFのベーコン串の販売が行われました。（生産課 金杉）



元気豚のフランクフルト、つくね串



東の匠SPFの豚バラ串



日の出ポークの豚串焼き

いちばん米！ちば米！新米プロジェクト

新米に合う千葉の食材・おかずプレゼントキャンペーンが実施中です。
チバザビーフ・チバザポーク等、千葉県産の食材が当たる！！

応募はシール記載の二次元コードを読取って Web から！

▶ **応募条件** キャンペーン応募シールが貼ってある商品の購入。

この応募シールが貼ってあるお米を買って応募してね♪

▶ **応募方法** 二次元コードを読取り、応募フォームのアンケートに回答の上、ご応募ください。

▶ **当選発表** 賞品の発送をもって代えさせていただきます。

▶ **応募締切** 令和7年11月4日(火)

※応募シール1枚につき、1回の応募となります。
当選は1人につき1賞品のみに限らせていただきます。

詳しくはWEBで

ちばのお米のホームページ



chibakome.com/



畜産に学びの場を。

FARM *inar* ファーマナー

お客さま専用オンライン情報配信サービス

POINT1
どこからでも参加できる
オンラインセミナー

POINT2
専門家による飼養管理や
農場運営に役立つコラム

ZENOAQ
Gazing of the future



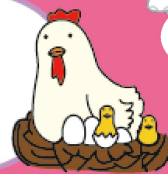
ちば畜産レディースネットワーク

畜種を超えて手をつなぎませんか？
小さな私たちの声を大きく発信しましょう！



畜産に携わる女性のみなさん
一緒に活動しましょう！

会員募集中です。



畜種を超えた女性たちが集まるグループです。

お互いの交流を深め、畜産女性の声を発信する場や情報交換の場として活動しています。

(情報発信・情報交換、研修会・交流会など)

ちば畜産レディースネットワーク事務局
(公益社団法人千葉県畜産協会 内)

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3 K&T千葉ビル3階

TEL:043-241-5417 FAX:043-238-1255



ちば畜産イベント(2025.2.2末廣農場)

**「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。**

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています！



- ・酪農、肉用牛、中小家畜など家畜の生産対策に関する事業
- ・生産された家畜や畜産物等の流通改善のための事業
- ・家畜の飼養環境改善事業 など

部 署		T E L	F A X
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企 画 課	043-242-6333	
事 業 部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生 産 課	043-241-3851	
Eメール：info@chiba.lin.gr.jp		U R L http://chiba.lin.gr.jp	